

令和3年7月16日

保護者各位

天童市立高揃小学校
校長 樋口 良彦

他県の給食事故を受けた本校の指導について（お知らせとお願い）

盛夏の候、皆様におかれましてはご清祥のことと存じます。日頃、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、深く御礼申し上げます。

さて、今月7日（水）、新潟県佐渡市で給食中の小学5年男児がパンをのどに詰まらせて意識不明となり、11日（日）に死亡するという痛ましい事故がありました。天童市の給食は米飯が中心で、パンは月1回程度となっています。パンが提供される頻度は多くないものの、同様の事態が起こらないとは限らないので、市学校給食センターからの資料（裏面）をもとに、本日以下3点について各教室で児童に指導いたしました。今後も給食中の児童の様子に気を配り、随時必要な指導を重ねて参ります。

つきましては、ご家庭におかれましても、食事マナーや健康な体を作る食習慣等についてご指導くださいますようお願いいたします。

記

1 指導内容

- (1) パンを食べる際のマナーについて
- (2) 主食と副食を交互に食べることについて
- (3) 食事中のよい姿勢について

2 その他

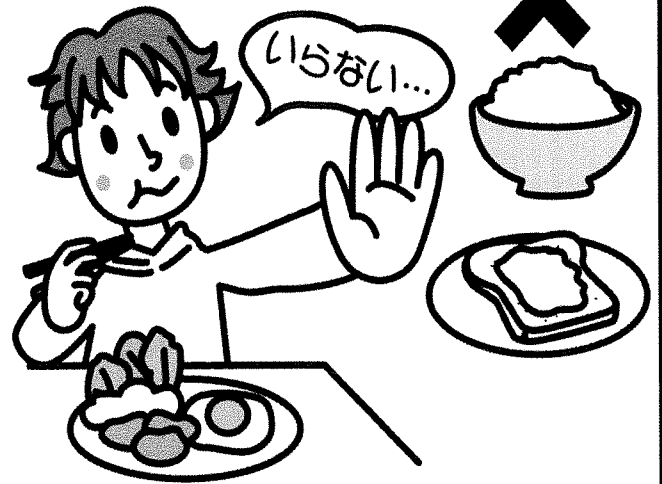
- (1) 学校では、感染症防止のために、給食時は児童全員が同じ方向（黒板側）を向いて食べています。また、マスクは食事の直前に外し、食事を終えたらすぐに着けるよう指導しています。
- (2) 不明な点等は、各学級担任か下記の担当者にお知らせください。

担当 天童市立高揃小学校 教諭 鈴木 早希 Tel. 655-2051

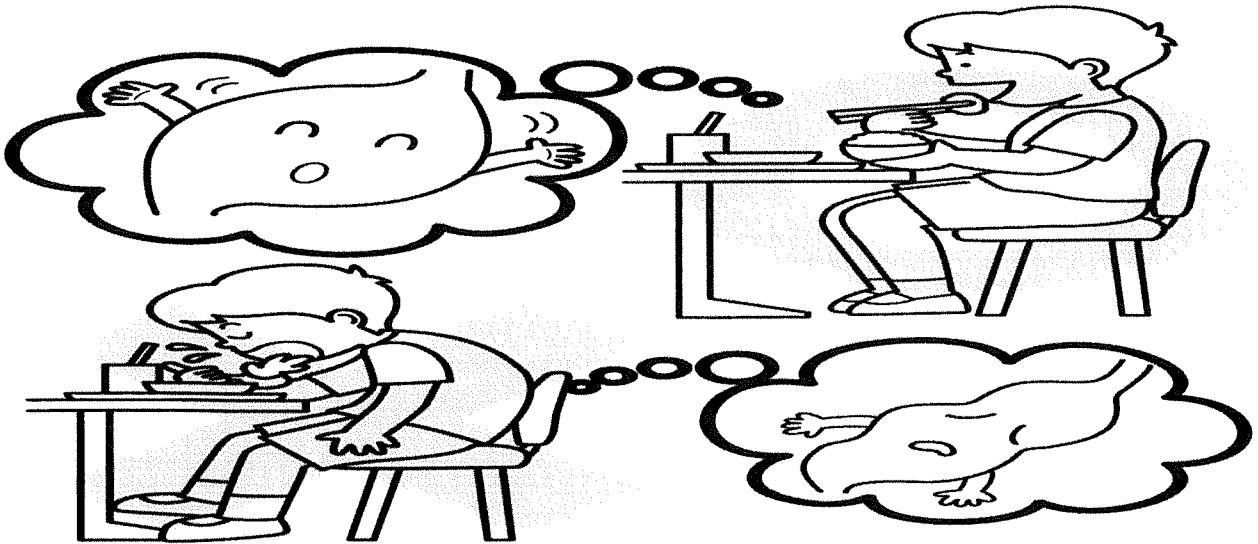
主食と副食を交互に食べましょう

近年、肉、魚、卵などの主菜を全部食べてから、副菜、次にスープやみそ汁、最後にご飯といったように“1品食べ”をする児童生徒が増えています。また、この食べ方で残すのは、おかずよりご飯のほうが多いことが特徴です。

こうした食べ方について、従来はマナーの面から問題視されてきました。1品食べは結果的に主食の量が少なく、脂肪やたんぱく質の摂取が多くなるので、生活習慣病を予防する観点からも、ご飯と副食を交互に食べるように改める必要があります。



よい姿勢で 食べましょう



パンをマナーよく食べよう

みなさんは、パンをどのようにして食べていますか？

パンは、一口で食べられるくらいの大きさにちぎって食べるのがマナーの良い食べ方です。口を大きく開けてパンにかぶりついたり、中のやわらかいところだけをくりぬいて食べたり、ぺちゃんこにつぶして食べたりするのは、正しいマナーではありません。また、口の中にパンをいっぱい入れるのは、のどにつまる原因になります。さらにパンをちぎる時に、皿の上でパンをちぎるようにすると、机や床にパンの粉が落ちずに、きれいに食べることができます。お米を主食とする国には、ごはんを食べるときのマナーがあります。パンを主食とする国にも、パンを食べるときのマナーがあります。パンの食べ方を見直してみましょう。